

バックアップ・レプリケーションソリューション

分散された拠点のデータ保護は遠隔地バックアップ 拠点の運用コスト低減とデータ損失リスクを回避

支社や拠点、現場事務所など、遠隔地に業務データが分散している場合、拠点毎にバックアップを設計・運用しているケースが見られます。業務データには取引にかかわる文書など重要度の高いデータが含まれていることもあります。

バックアップ運用は毎日行う大切な業務ですが、システム運用者への管理コストの負担は大きくなりがちです。

拠点のデータは遠隔地にある1つの拠点へ自動的に集約し、バックアップ業務も統合的に運用する“遠隔地バックアップ”。

これまで行っていた各拠点でのバックアップ運用を集約し管理コストを低減し、統合されたバックアップ運用で拠点データの損失リスクを回避することが大切です。

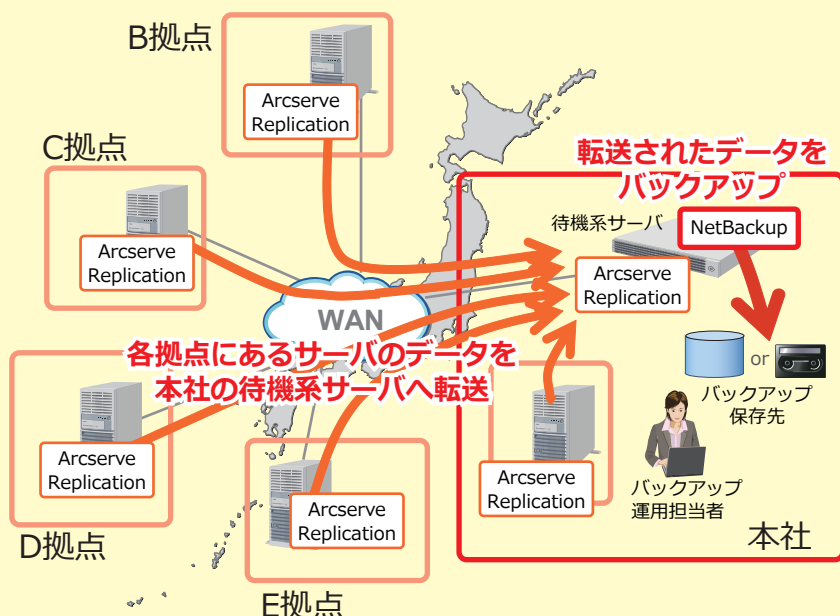
悩み 各拠点のバックアップ運用がうまくいかない・・・



- 本社/本部のシステム部門で各拠点の状況が確認できず、実際どのように運用されているかわからない
- 各拠点のバックアップ運用のため、高いコストが必要
- テープ交換やクリーニング作業を忘れがち
- 拠点におけるバックアップ運用の引継がうまく行われていない
- 保存したデータが各所にあり、管理が不十分

・・・など、その他多数

こうして解決！ 拠点のバックアップ業務を本社サーバへ集約！



- バックアップ運用を一括管理
- 運用コストを大幅に削減
- バックアップしたデータは世代管理
- ファイル単位での復旧など、詳細な運用リクエスト対応も可
- 集約したデータはディスクやテープなどに保管、管理もシンプルに

拠点で障害が発生した場合も・・・



利用者は本社(待機系)サーバを使用することができます！

業務継続



転送されたデータは、すぐに利用することができます。災害やサイト障害の際には、待機サーバのデータを利用し、早期に業務再開を実現します。

転送時はデータを暗号化



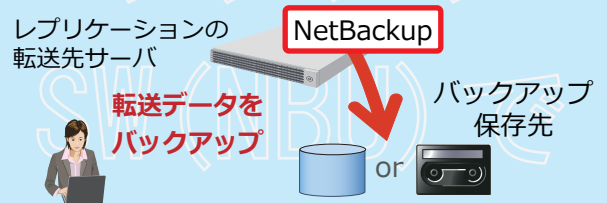
Arcserve Replication によって、データは暗号化 (256bit) された状態で転送されるため、データ転送時のセキュリティを確保できます。

データ転送は必要最少限



レプリケーションでは、更新された部分だけを転送するので、ネットワークの転送量は最小限です。万一の災害に備え、WAN経由で遠隔地へデータを転送することができます。

バックアップソフトで世代管理



バックアップソフトウェアを使用してバックアップを行うと世代管理が可能となり、データ管理を容易にします。また、誤削除などの人的ミスによるデータ損失を防ぎます。

😊? レプリケーションとバックアップって何が違うの?

バックアップとレプリケーションは同意ではありません。具体的には以下のような違いがあります。状況に合わせて選択、場合によってはバックアップソフトとレプリケーションを組み合わせることでデータ保護を実現します。

データ保護に関する項目	バックアップソフト	レプリケーションソフト
データの扱い方(提供サービス)	データを書庫化して別媒体に保存する	データをそのままの形式で別媒体にコピー
世代管理	可能	不可 (or 困難)
処理中の耐障害性	過去世代から復旧可能	いくつかのファイルが損失する可能性あり
ファイルの誤削除	過去世代から復旧可能	待機側の当該ファイルも削除される
ファイル内容の破損	過去世代から復旧可能	待機側の当該ファイルの内容も破損する
リカバリポイント	複数保持可能	転送が完了している1つの時点

お問い合わせは、下記へ

NECプラットフォームソリューション事業部 ソフトウェアお問い合わせ

〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号 (第一田町ビル)

TEL : 03 (3798) 7177 【受付時間】 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日 (祝日・NEC所定の休日を除く)

URL : <http://jpn.nec.com/backup/>

●本資料に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。●この資料の内容は2018年4月現在のものです。●製品内容については予告無く変更する場合があります。●お使いのシステム環境、およびご利用方法によっては記載以外の制限が発生する場合がございますので、あらかじめご了承ください。●本資料の内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。●この資料の一部、または全部を複写、転載、複製、引用することは禁じられています。